

SSS-T2 診断データ出力方法

① 診断データ保存方法

※この診断データ出力方法は、「スキャンツール補助金申請」の提出データとしてお使いいただけます。(テキスト抽出ができる状態)
簡易PDF出力を希望の場合はP.10【参考】をご覧ください。

<診断レポート イメージ>

ALTIA 故障診断レポート

点検日時: [REDACTED]
登録番号: [REDACTED]
メーカー: [REDACTED]
車両型式: [REDACTED]

システム	状態
エンジン	1 / 1 : P0135 フロントO2センサー信号系統

1. 車両とOBDを接続後、「車両診断」をタップします。



- 2.「自動登録（QR読み込み）」から車検証のQRコードを読み込みます。
読込んだ車両情報が表示されましたら車両をタップし、
「診断メニュー」をタップします。



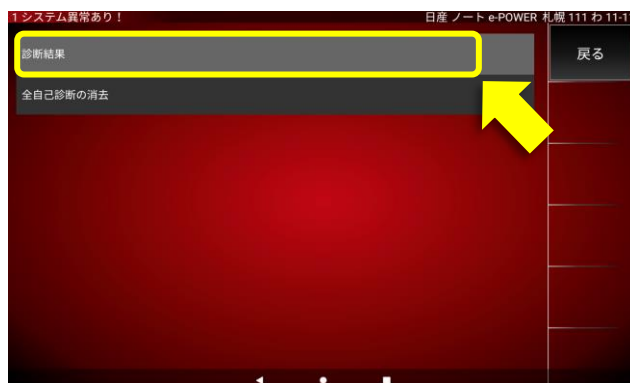
- 3.「診断」をタップします。表示に従い進めて行きます。



- 4.メインメニューから「診断」をタップします。画面指示に従い、
診断を進めてください。



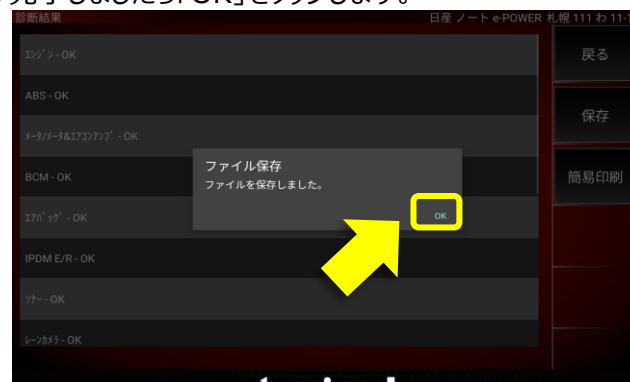
6.全自己診断が終了しましたら「診断結果」をタップします。



7.診断結果が表示されましたら、「保存」をタップします。



8.保存が完了しましたら「OK」をタップします。



9.保存データはホーム画面の「保存データ」から確認できます。



② 診断レポートの出力【PC接続】

1. 付属のmicroUSB Cケーブルを使用して**タブレットとパソコンを接続**します。
※接続がうまくいかない場合は、タブレット及びPCの再起動をお試しください。



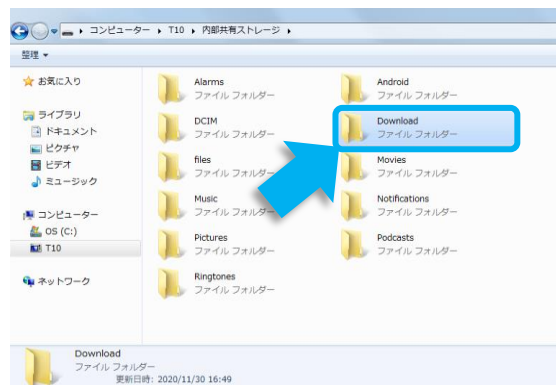
3. USBの設定が表示されましたら「ファイル転送」をタップします。



4. パソコンがタブレットを認識するとポータブルデバイス「T10」が表示されます。「T10」を選択し、「内部共有ストレージ」をダブルクリックします
※初回接続時はタブレットの認識に時間がかかる場合があります。

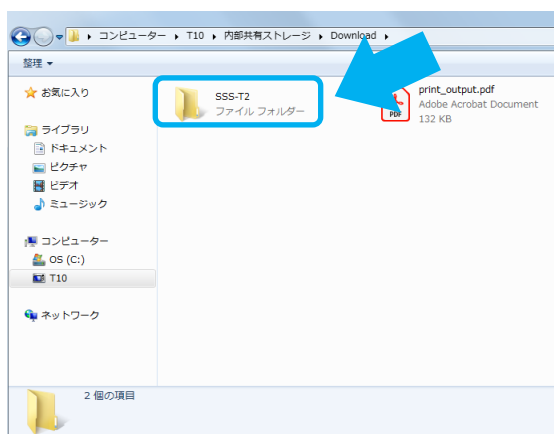


6.「Download」をダブルクリックします。

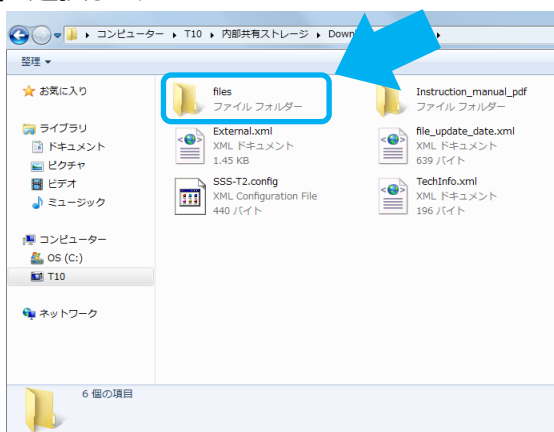


※「スキャンツール補助金」等申請においてテキストの抽出できるPDFが必要な場合は、下記の7以降の手順をお試しください。

7.「SSS-T2」を選択します。

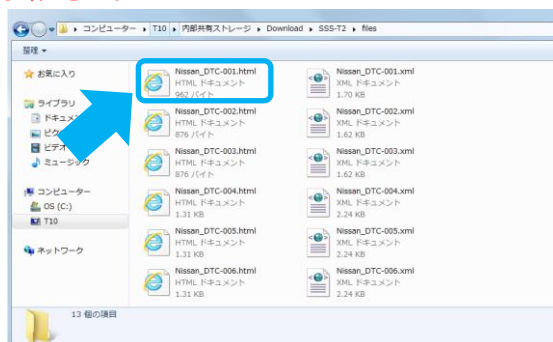


8.「files」を選択します。

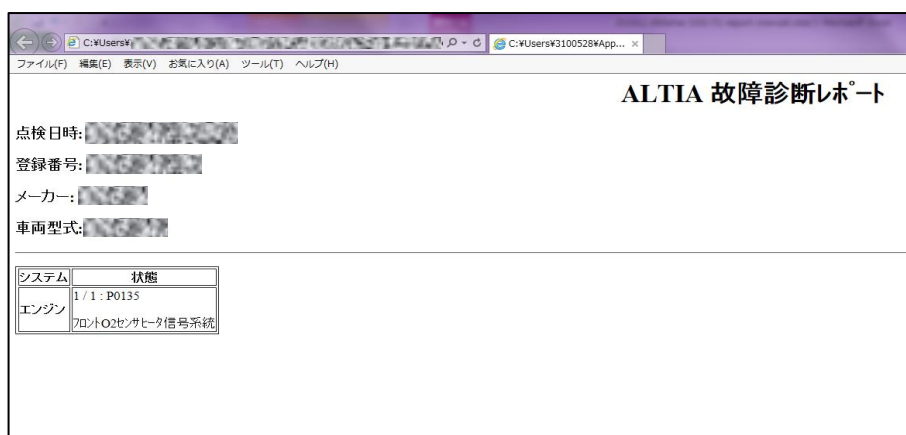


9. 該当のHTMLをダブルクリックまたは、[右クリック]→[開く]を選択します。

※ブラウザの起動に際し、エラーが表示される場合は、PCの再起動をし、再度お試しください。



10. 下記のようにブラウザが起動します。



事前にパソコンへ仮想PDFプリンターをインストールします。

※Windows 10 からは仮想PDFプリンター「Microsoft Print to PDF」が標準装備されていますので、インストールは必要ありません。

仮想PDFプリンターをインストールしておくことによりPDFとして保存（出力）することができます。

検索サイトで「仮想 pdf プリンター」などで検索していただくと無料の仮想PDFプリンターがいくつか検索されますので、目的にあったソフトをインストールしてください。

例) CubePDF 等

PDFは、Goole chromeでも出力が可能です。

Goole chromeがインストール済みの方は、次ページをご参照ください。

【参考】Goole chromeを使つてのレポート印字

PC内にGoogle Chromeがインストールされている場合は、仮想PDFソフトインストールは不要です。



11. アドレスバーよりURLをコピーします。

アドレスバーを[左クリック]で選択してください。

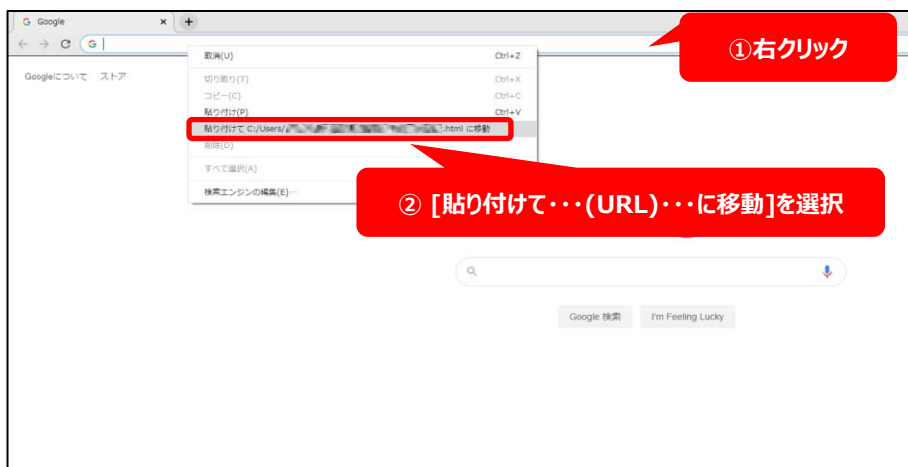
URLが青く選択されましたら、URL上で[右クリック]をし、

[コピー]を[左クリック]してください。



12. Google chromeを起動し、アドレスバーで[右クリック]し、

[貼り付けて…(URL)…に移動]を選択してください。



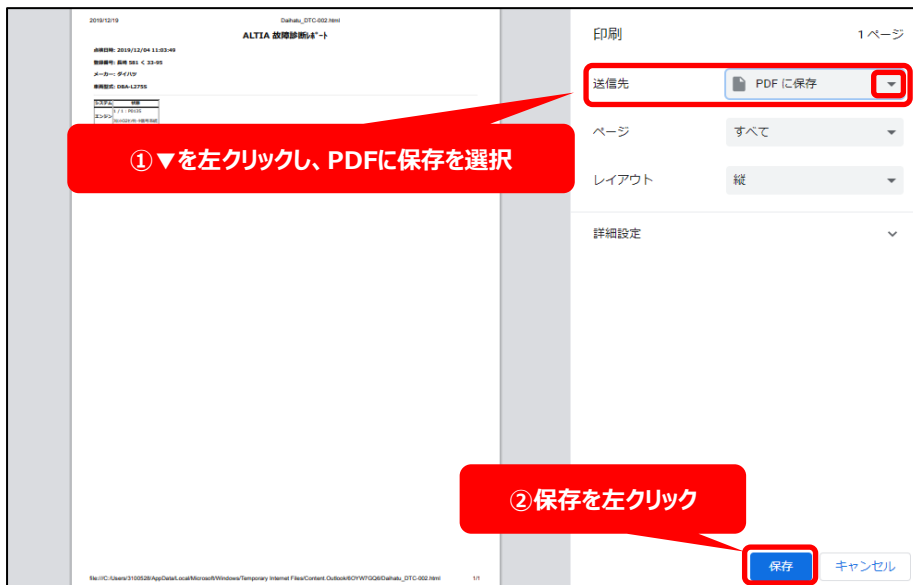
13. 貼り付け後、自動的にページが表示されます。



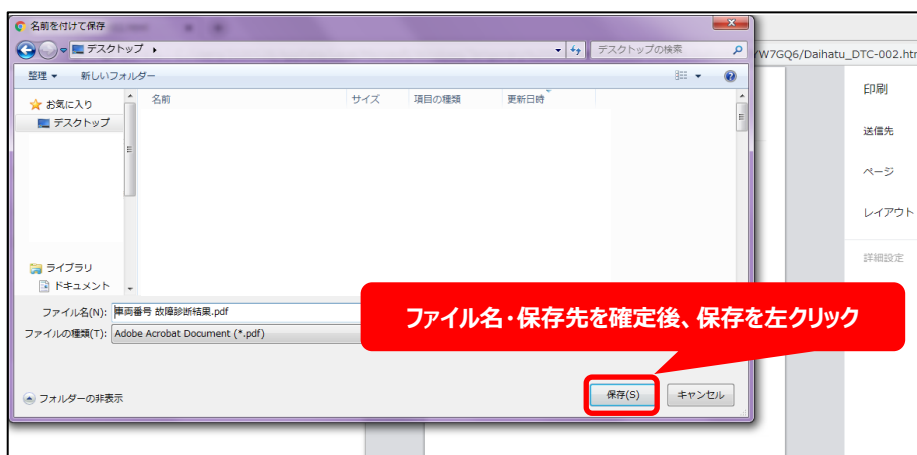
14. 右端の点3つが連なったアイコンを[左クリック]し、
[印刷]を[左クリック]してください。



15. 印刷を選択すると下記の画面が表示されます。
送信先の▼を[左クリック]し、[PDFに保存]を選択し、
[保存]を[左クリック]してください。



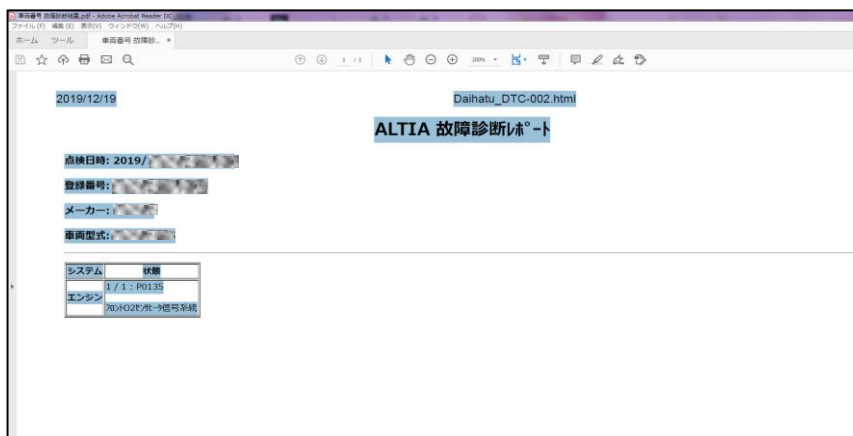
16. 保存を押すと[名前を付けて保存]ウィンドウが表示されます。
デスクトップ等、任意の場所にファイルを保存してください。
必要に応じてファイル名を変更してください。



17. 保存が完了しましたら、保存場所にPDFが正しく保存されているかご確認ください。

保存されたPDF上でキーボードの[CTRLキー]+[Aキー]を同時に押し、(すべて選択の状態)下記の画像のようにすべての文字が青く選択されましたら、テキスト抽出可能な状態になっているかをご確認いただけます。

以上の手順でテキスト抽出可能なPDFデータの作成は完了です。
本PDFデータをパシフィックコンサルタンツまでご提出ください。



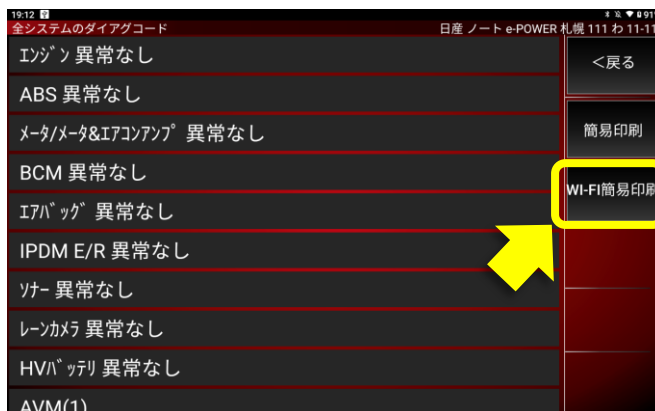
【参考】PDF出力(簡易版)

※「スキャンツール補助金」等申請においてテキストの抽出できるPDFが必要な場合は、上記の7以降の手順をお試しください。
特に指定のない場合は下記の方法でもPDF出力が可能です。
上記の方法よりも素早くPDFデータを作成することができます。

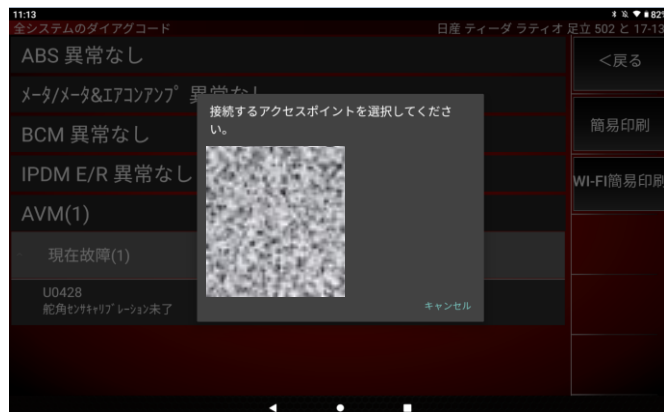
1. ① 診断データ保存方法を実施後、
「保存データ」より、該当の車種を選択します。



2. 診断結果が表示されましたら、「Wifi簡易印刷」をタップしてください。



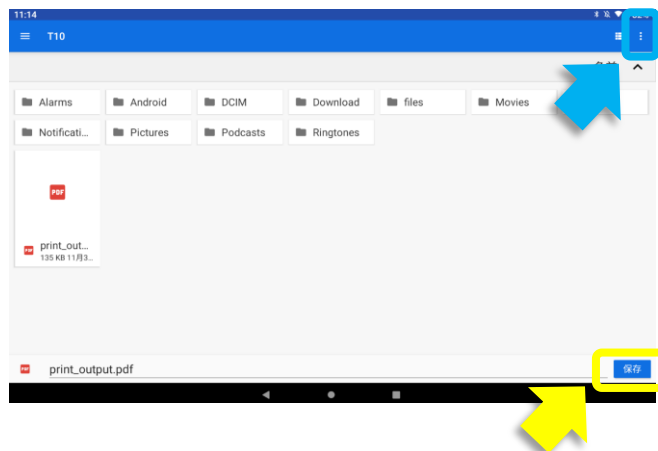
3. アクセスポイントを選択してくださいと表示されましたら該当のアクセスポイントをタップしてください。
既に設定済みの場合や、PDFの出力をする場合は、「キャンセル」をタップしてください。



4. 下記の画面が表示されましたら、出力の設定を行います。
赤枠内をタップしますと、縦横のレイアウト変更・用紙サイズを設定できます。
設定が完了しましたら水色枠内をタップしてください。



5. PDFファイルを任意の場所・任意の名前で保存してください。
水色枠内の点マークをタップすると、新しいフォルダを作成できます。
※初期設定では日本語タブレットがインストールされていません。
インストール方法については当社HPの困ったときは？をご覧ください。
<https://altia.co.jp/kikou/eg/sss-t2/>



5. タブレットとPCを付属のmicro USB Cコードで接続し、
前手順で保存したPDFが[内部ストレージ]に保存されているか
確認してください。

